

大西昭男新学長にきく

ききて 広報委員会委員長 井上 宏 (社会学部教授) 広報委員会副委員長 日下 恒夫 (文学部助教授)

——本日は選挙が終わったばかりですが、まずは現在の抱負を語っていただけますか。

大西 抱負は、やはり「教育の質の向上」が第一です。特に、基礎的な学力の向上と、専門的知識の習得を重視したいと思います。また、国際化の推進も重要な課題です。

——「質の向上」とは具体的に何を指しますか。

大西 教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵です。教員は、最新の知識を身につけ、学生に伝授する役割を担う必要があります。学生は、主体的に学び、批判的に考える能力を養うことが重要です。

——国際化の推進は、具体的にどのような取り組みを計画されていますか。

大西 海外との交流を促進し、留学生の受け入れを増やすとともに、国際的な視野を持った人材の育成を目指しています。また、海外との共同研究や、国際会議の開催なども積極的に行う予定です。



大西昭男学長を再選

全教員による 選挙会で選出

大西昭男学長の任期満了にともなう次期学長選挙は、六月末以来、所定の選挙準備の後、九月五日に全教員による選挙会が行われ、大西昭男学長が再選された。

《学長選挙の経過と結果》

次期学長選挙は、昭和四十八年 学長選挙委員会として、学長選挙準備委員会(委員長、前田春興)が組織され、七月二十六日に実施された。選挙人は、全教員(約二千名)が参加した。投票率は、約九割に達した。投票の結果、大西昭男学長が再選された。得票数は、約一千五百票であった。

選挙会では、大西学長の再選を歓迎し、今後の学長としての活躍を期待した。また、選挙会では、学長選挙の経過と結果について、全教員に報告が行われた。

教学の車輪を前進 衆知を集めて

行政の発展に資する教育、研究、社会奉仕の三つの柱を軸として、教学の車輪を前進させることが、大西学長の再選後、最も重要な課題と見做されています。

大西学長は、教育の質の向上と、国際化の推進を重視する方針を示しています。特に、基礎的な学力の向上と、専門的知識の習得を重視したいと思います。また、国際化の推進も重要な課題です。

「一人の人間として、また市民として、社会に貢献する教育者・研究者としての生活」を、大西学長は、自身の教育理念として掲げています。これは、単に知識を伝授するだけでなく、学生の人格形成と、社会への貢献を促すことを意味しています。

大西学長は、自身の教育理念を、全教員に共有し、協力して実践していくことを目指しています。特に、教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵と見做されています。

昭和元年大阪市に生まれ、昭和二十二年本学専門部第二部国文学科を卒業。二十六年京大文学部英文学科卒業。同年本学文学部助手、二十九年専任講師、三十二年助教授、三十八年教授。五十一年六月から五十二年十月まで文学部長。五十四年五月から同年十月に学長に就任。今期で二期目。専攻は現代英米文学。文学博士。主な著書として「ハンリッシュ・エイムス(研究社)」「ハンリッシュ・エイムス(研究社)」がある。

本号の内容

- 大西昭男学長を再選 大西昭男学長にきく 千里眼
- 吹田市民大学教員選挙 文化セミナー「大阪論」 豊川川市民大学
- 58年度在外研究員決まる 総合開戦の結果
- 第二部リーダーズ・キャンプ 泊園記念講座 故市原教授追悼講演会 産業セミナー
- 日本グループ・ダイナミックス学会 学生請願体の行事予定
- 就職戦線又スター 自動車通学の自衛隊を「創立二〇〇周年記念事業計画委員会」発定 配市会新誌
- 「四大通信」第133、134、135号を發行
- 4・5面 情報処理の今後
- 6面 地方教育振興会に出席して 山崎海雄先生を偲んで
- 7面 夏休みのレポート
- 8面 世界の大学 特集「新刊紹介」 編集後記

大西学長は、自身の教育理念を、全教員に共有し、協力して実践していくことを目指しています。特に、教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵と見做されています。

「質の向上」とは具体的に何を指しますか。

大西 教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵です。教員は、最新の知識を身につけ、学生に伝授する役割を担う必要があります。学生は、主体的に学び、批判的に考える能力を養うことが重要です。

——国際化の推進は、具体的にどのような取り組みを計画されていますか。

大西 海外との交流を促進し、留学生の受け入れを増やすとともに、国際的な視野を持った人材の育成を目指しています。また、海外との共同研究や、国際会議の開催なども積極的に行う予定です。

——「質の向上」とは具体的に何を指しますか。

大西 教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵です。教員は、最新の知識を身につけ、学生に伝授する役割を担う必要があります。学生は、主体的に学び、批判的に考える能力を養うことが重要です。

新学長の任期は昭和五十七年十月一日から昭和六十年九月三十日までである。

大西昭男学長は、再選された。得票数は、約一千五百票であった。

選挙会では、大西学長の再選を歓迎し、今後の学長としての活躍を期待した。また、選挙会では、学長選挙の経過と結果について、全教員に報告が行われた。

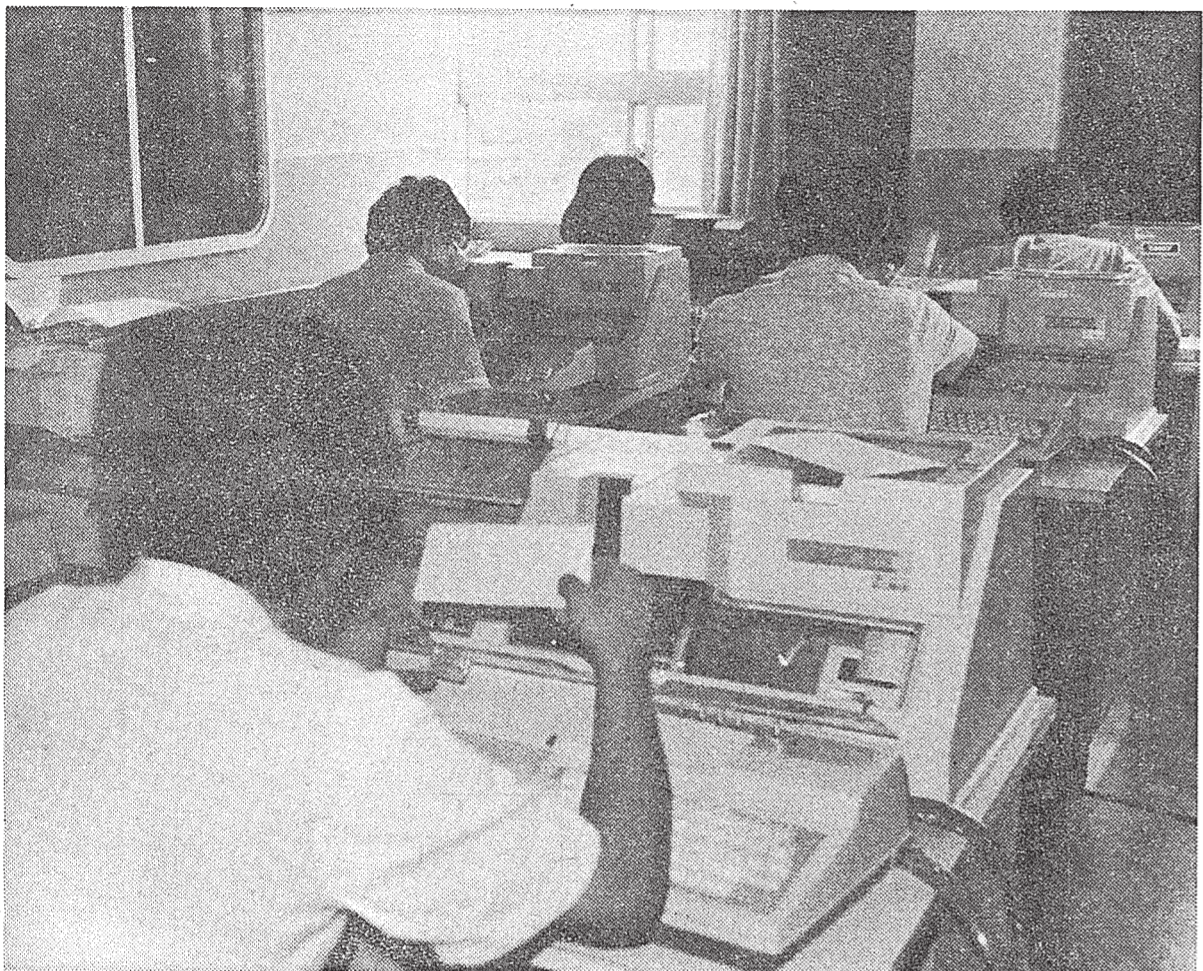
大西学長は、自身の教育理念を、全教員に共有し、協力して実践していくことを目指しています。特に、教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵と見做されています。

「質の向上」とは具体的に何を指しますか。

大西 教員の質の向上と、学生の学習意欲の喚起が鍵です。教員は、最新の知識を身につけ、学生に伝授する役割を担う必要があります。学生は、主体的に学び、批判的に考える能力を養うことが重要です。

——国際化の推進は、具体的にどのような取り組みを計画されていますか。

大西 海外との交流を促進し、留学生の受け入れを増やすとともに、国際的な視野を持った人材の育成を目指しています。また、海外との共同研究や、国際会議の開催なども積極的に行う予定です。



「コンピュータ」は、英語で「計算機」を意味する。コンピュータは、人間の計算能力を代替し、複雑な計算やデータ処理を高速で行うことができる。現代社会では、コンピュータがあらゆる分野で活用されており、私たちの生活に欠かせない存在となっている。

コンピュータの歴史は古く、1940年代にアメリカで開発されたENIACが最初の電子計算機であった。その後、コンピュータは急速に進歩し、小型化・高性能化が進んだ。現在では、インターネットやスマートフォンを通じて、コンピュータが私たちの生活に深く浸透している。

右脳・左脳のシナジー効果

中辻 卯一

人間の脳は、右脳と左脳に分かれています。右脳は直観力や創造力を司り、左脳は論理的思考や言語能力を司ります。両者の協調作用が、人間の知能を最大限に引き出す鍵となります。

近年の研究では、右脳と左脳のシナジー効果が注目されています。例えば、創造的な発想を論理的に整理したり、複雑な問題を直観的に解決したりすることができるようになります。

コンピュータの発展に伴って、教育現場でもICTの活用が進んでいます。従来の紙ベースの授業から、デジタル教材やオンライン学習へと移行しています。

また、AI技術の進歩により、個別最適化された学習が可能になりました。学習者の理解度や進捗に合わせて、最適な学習内容を提供できるシステムが開発されています。

コンピュータは、単なる計算機としてだけでなく、コミュニケーションツールとしても活用されています。メールやチャット、ビデオ会議など、遠隔地での協働作業を容易にしています。

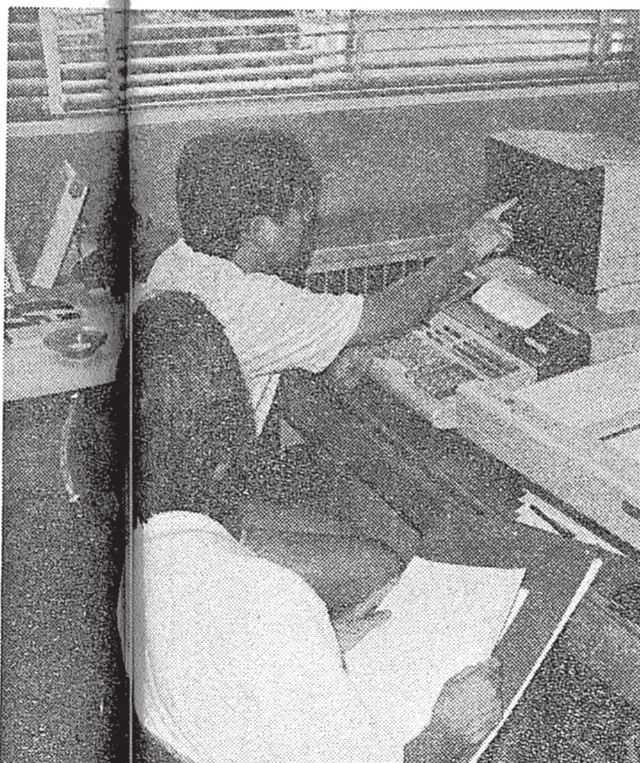
さらに、ビッグデータ解析やAIによる予測分析など、高度なデータ処理能力が、ビジネスや科学研究に大きく貢献しています。

情報処理 今後

近年ますます情報化社会の激流が身辺に押し寄せている。コンピュータはもはや大学や研究所・大企業のものではなく、簡単な文書作成にまで使われるようになってきた。そこで今回は大学の教育・研究が情報処理とどのように関わり発展してきたか、また今後いかなる方向へ発展していくのかにスポットを当てた。学生諸君にとって、情報処理についての展望が開けることを期待したい。

情報処理は、コンピュータを用いたデータの収集・整理・分析・伝達を指す。現代社会では、あらゆる分野でデータが生成され、その処理が不可欠となっている。

教育現場では、情報処理の導入により、学習者の理解度を高め、効率的な授業が行えるようになった。また、研究においても、大量のデータを高速で処理できることで、新たな発見が相次いでいる。



コンピュータの普及により、インターネットが世界中の人々をつなぐようになった。これは、情報処理の発展の象徴とも言える。

インターネットを通じて、知識の共有が容易になり、グローバルな協働が可能となった。また、オンライン教育の普及により、誰もがいつでもどこでも学ぶことができるようになった。

情報処理の発展は、社会の進歩を加速させている。一方で、プライバシーの保護やセキュリティの確保といった課題も生じている。

未来には、AIと人間の協働による新たな価値の創造が期待されている。教育現場でも、AIを活用した個別指導や学習支援が実現されるだろう。

コンピュータ技術の進歩は、私たちの生活を豊かにしている。しかし、技術の進歩は必ずしも人間性を豊かにしているとは限らない。

デジタルデバイドの解消や、情報リテラシーの向上が、社会全体の発展のために必要不可欠である。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

情報処理の発展は、私たちの生活を豊かにしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

情報処理の発展は、私たちの生活を豊かにしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

教育・研究における情報処理の活用

80年代 情報化社会の展望と教育の課題

東村 高良

法律学・政治学での情報処理

上田 惟一

法律学や政治学においても、情報処理の活用が進んでいます。例えば、膨大な判例や法令データをデータベース化し、検索・分析が容易にできるようになりました。

また、政治学では、選挙データや世論調査データを高度に解析することで、政治動向の予測や分析が可能になりました。

人文科学分野の情報のデータベース化

岩塚 敏生

人文科学分野でも、情報のデータベース化が進んでいます。古文書や歴史資料をデジタル化し、誰でも簡単にアクセスできるようになりました。

また、言語学や文学研究においても、大量のテキストデータを高速で処理できることで、新たな発見が相次いでいます。

経済学と電算機利用

堀江 義

経済学と電算機利用の分野では、データ分析の重要性がますます高まっています。市場動向の予測や消費者行動の分析に、高度なデータ処理技術が不可欠となっています。

また、電算機を用いたシミュレーションや最適化問題の解決も、経済学において重要な役割を果たしています。

ネットワークの時代にむけて

三上 市藏

ネットワークの普及により、情報の共有と流通が飛躍的に進んでいます。これは、教育や研究に大きなチャンスをもたらしています。

しかし、ネットワークの発展に伴って、セキュリティやプライバシーの課題も生じています。これらの課題を克服し、安全なネットワーク環境を構築することが、今後の重要な課題となります。

右脳・左脳のシナジー効果

中辻 卯一

人間の脳は、右脳と左脳に分かれています。右脳は直観力や創造力を司り、左脳は論理的思考や言語能力を司ります。両者の協調作用が、人間の知能を最大限に引き出す鍵となります。

近年の研究では、右脳と左脳のシナジー効果が注目されています。例えば、創造的な発想を論理的に整理したり、複雑な問題を直観的に解決したりすることができるようになります。

コンピュータの発展に伴って、教育現場でもICTの活用が進んでいます。従来の紙ベースの授業から、デジタル教材やオンライン学習へと移行しています。

また、AI技術の進歩により、個別最適化された学習が可能になりました。学習者の理解度や進捗に合わせて、最適な学習内容を提供できるシステムが開発されています。

情報処理の発展は、私たちの生活を豊かにしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

情報処理の発展は、私たちの生活を豊かにしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。

コンピュータは、私たちの生活を便利にしている。しかし、過度な依存は健康や人間関係に悪影響を及ぼしている。

健康的なデジタルライフを送るためには、適切な使い方を学ぶ必要がある。



地方教育懇談会に出席して

地方教育懇談会に出席して

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

地方教育懇談会に出席して

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

地方教育懇談会に出席して

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

地方教育懇談会に出席して

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

図書館建築の今昔

特に防災について

図書館建築の今昔

特に防災について

図書館建築の今昔

特に防災について

地方教育懇談会に出席して

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

高松市教育委員会の懇談会に出席して

高松市教育委員会

市川 訓教

山崎寿雄先生を偲んで

河野 通博

山崎先生は、

山崎先生は、

山崎先生は、

140人が一堂に

英語研究部

140人が一堂に

英語研究部

140人が一堂に

英語研究部

大分・高崎

小谷 節男

大分・高崎

小谷 節男

大分・高崎

小谷 節男

お笑いの裏で

II部落語会

お笑いの裏で

II部落語会

お笑いの裏で

II部落語会

夏休みレポート

大自然の魅力を満喫

ユースホステル・クラブ

夏休みレポート

大自然の魅力を満喫

ユースホステル・クラブ

モーレツゼミ合宿

中国文学科

モーレツゼミ合宿

中国文学科

モーレツゼミ合宿

中国文学科

心通う言葉の発見

方言研究会

心通う言葉の発見

方言研究会

心通う言葉の発見

方言研究会

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

工場の現場に学ぶ

工学部

工場の現場に学ぶ

工学部

工場の現場に学ぶ

工学部

工場現場に学ぶ

工学部

工場現場に学ぶ

工学部

工場現場に学ぶ

工学部

モーレツゼミ合宿

中国文学科

モーレツゼミ合宿

中国文学科

モーレツゼミ合宿

中国文学科

心通う言葉の発見

方言研究会

心通う言葉の発見

方言研究会

心通う言葉の発見

方言研究会

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

合同合宿 初の試み

II部空手・柔道部

工場の現場に学ぶ

工学部

工場の現場に学ぶ

工学部

工場の現場に学ぶ

工学部

新刊紹介

本紙では、先生方の日々の研究成果を本誌に紹介して...

法学部教授 藤井 裕彦が著「道路・隣地通行の法律紛争」...

民法学は極めて体系的かつ実用的な学問領域であるが、その実用性自体、体系的閉鎖性により...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

事例考案を通じて日本神話を見直してゆく。

「鑑賞 日本現代文学」第二十四巻「文学」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

「イギリス 社会保障論」...

元文学部教授 吉田安雄ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

「統計的方法の生 成と展開」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

「幼児の心理療法」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

「人間の関係論」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

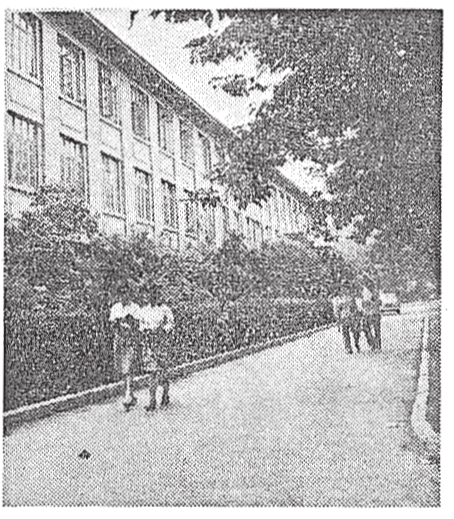
文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

「日本の壁」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...

文学部教授 吉田永宏ほか編「鑑賞 日本現代文学」...

文学部教授 藤田健一著「日本古代神話と氏族伝承」...



山東大学

山東大学は現在総合大学であるが、文科系の人材には特長「文芸」でよく有名。

発達を促進できると確信している。しかもその際、問題を克服し、健康に成長する能力を子どもに十分発達させるためには、治療者としての信頼を積極的に結ぶ...

「人間の関係論」は、北谷路路が著した。この書は、人間の関係を論じている。...

「日本の壁」は、山田幸一が著した。この書は、日本の壁について論じている。...

「幼児の心理療法」は、高橋雅春が著した。この書は、幼児の心理療法について論じている。...



編集後記

未だ残りの残るキャンパスにも、秋の匂いが漂っている。...